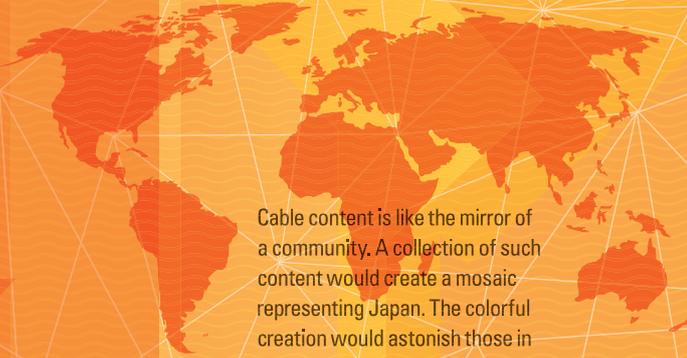


ケーブル・コンテンツ通信 Cable Contents Press Vol.1

- 2 — サプライヤーのAJC-CMS活用術
東北新社 / ジェイ・スポーツ / ターナー・ジャパン
ウォルト・ディズニー・ジャパン
専門チャンネルが新たなAJC-CMS活用方法を模索
- 6 — じもテレリニューアルインタビュー
日本ケーブルテレビ連盟
自動生成に加え「人力」も活用 両方式で訴求力と回遊性が向上
- 7 — Cable Contents Information
4Kフィラーコンテンツ撮影局を募集中
- 8 — AJC-CMS / じもテレのご紹介 / AJC-CMS 利用料金



Cable content is like the mirror of a community. A collection of such content would create a mosaic representing Japan. The colorful creation would astonish those in Japan and around the world.

ぜひ全てのケーブルテレビ局で AJC-CMSを利用してほしい

チャンネルサプライヤーによるAJC-CMSの活用が広がっている。これまでの番宣映像の配信が中心だったが、より長尺な番組の配信や共同制作などでの利用も進みつつある。中でも積極的にAJC-CMSを活用しているのが、(株)東北新社(東京・港区、植村徹社長)グループだ。同社取締役の岡本光正氏に、直近での活用事例について話をうかがった。



岡本光正氏

(株)東北新社 取締役
上席常務執行役員

新作映画宣伝を目的に アニメ映画を配信

岡本：映画『THE NEXT GENERATION パトレイバー 首都決戦』の5月1日の全国劇場公開に合わせ、その序章である長編アニメーション映画『機動警察パトレイバー 2 the Movie』を、4月1日～5月17日の期間に“スターチャンネル／ファミリー劇場 Presents”としてチャンネル採用局に提供しました。提供作品内に『THE NEXT GENERATION パトレイバー 首都決戦』のCMを付け、新作映画のプロモーションを目的として実施した企画です。

弊社のケーブルテレビ担当者から各局にご案内し、お申込みいただくことで作品を無料提供した形で、その結果144局のコミュニティチャンネルで放送され、視聴可能世帯数は実に2,054万8,478世帯にも上りました。この取り組みにおけるケーブルテレビ局へのコンテンツ配信のほとんどを、AJC-CMSを利用して行なっています。

コミュニティチャンネルでの長尺アニメーションの放送は例が少ないこともあり、ご利用いただいたケーブルテレビ局からは新たな取り組みとしてご評価いただいたと自負しております。また我々としなくても、全国約2,000万世帯に向けて効率的に新作映画の宣伝を行うことができたと評価しています。

東北新社グループでは今回の企画以外にも、囲碁・将棋チャ

ンネルでの講座番組の提供や「J:COM杯 3月のライオン子ども将棋大会」番組のJ:COMとの共同制作、スーパー！ドラマTVでの新作ドラマ第1話のお試し提供などで、積極的にAJC-CMSを利用しています。

AJC-CMSの 新たな活用法を模索

岡本：チャンネルサプライヤーの立場から見ると、AJC-CMSは全国約3,000万世帯の視聴者にコンテンツを提供できる可能性のある、非常に魅力的なツールです。この能力に対してケーブル

テレビ局の方々にも自負を持っていただきたいですし、その効果をより高めるためにも、ぜひ全ケーブルテレビ局でAJC-CMSを利用いただきたいと強く願います。そうなれば、全国3,000万世帯をつなぐ、最大のネットワークが完成します。たとえば我々が全局にコンテンツを同時配信し、その放送告知広告を全国紙に出すといった立体的な展開が可能となるなど、新たな取り組みも行えるようになるでしょう。

これまではAJC-CMSでコンテンツを配信するという片方向での利用が中心でしたが、今後はケーブルテレビ局とともに双方向で活用する新たな企画を実施していきたいと考えています。AJC-CMSによってコミュニティ

チャンネルは大きな転換点を迎えるのではないかと—そう思えるほど、私はこのシステムを高く評価しています。



THE NEXT GENERATION パトレイバー 首都決戦
©2015 HEADGEAR/「THE NEXT GENERATION -PATLABOR-」
製作委員会

長尺番組を1対nで 配信できるのは大きな長所

スポーツテレビ局「J SPORTS」((株)ジェイ・スポーツ、東京・江東区、上田修社長)では、スポーツ中継におけるケーブルテレビ局との連携の取り組みの中で、AJC-CMSを活用している。その概要などについて、同社メディア営業部長の和泉克典氏に話をうかがった。



和泉克典氏

(株)ジェイ・スポーツ
メディア営業部長

高校バスケット大会共同制作で AJC-CMSを活用

和泉: J SPORTSでは「全国高校バスケット選抜優勝大会」(以下ウインターカップ)の番組制作で、AJC-CMSを使って全国のケーブルテレビ局と連携しました。

ウインターカップは高校バスケット最高峰の大会の1つで、J SPORTSでは全国大会の全100試合を生中継しています。そして2013年より、ウインターカップの番組制作におけるケーブルテレビとの連携を開始しました。この取り組みでは、各都道府県大会の男女決勝戦の様相を地元のケーブルテレビ局に取材・撮影いただき、その様相をコミュニティチャンネルで中継・放送いただくとともに、試合のハイライトや優勝校インタビューを素材としてJ SPORTSにお送りいただきました。いただいた映像は、J SPORTS制作のウインターカップナビ番組(事前番組)や、全国大会生中継のインサート映像として利用させていただき、またご協力いただいた局にはナビ番組やウインターカップ総集編番組をコミュニティチャンネル放送用に提供しました。

ご協力いただいた局数は、13年が29都道府県163局、14年が43都道府県226局となっています。

高校バスケット ウインターカップ2014

2014年12月23日～29日に東京体育館で行われた、高校バスケット日本一を決める大会。J SPORTSでは男女全100試合を生中継。また226局のケーブルテレビ局の協力で、43都道府県のウインターカップ予選決勝の様相を各コミュニティチャンネルで放送した。

定常的な番組配信にも利用 高速化等の要望も

和泉: そもそもは、日本ケーブルテレビ連盟 若手部会でオールケーブルでのブランディングについて話し合われている中で、コミュニティチャンネルと専門チャンネルの連携例のひとつとしてスポーツ大会が挙げられたことや、J SPORTSでもケーブルテレビ局とのコンテンツ連携をより一層深めたいと考えていたことから動き出した企画です。ウインターカップの全国規模での盛り上げや多チャンネル契約への誘導を目的としています。

おかげさまで14年の取り組み実施後に協力局の皆さまにお願いしたアンケートでは、約94%の局よりポジティブな評価をいただくことができました。

この取り組みにおいて、主にJ SPORTSからケーブルテレビ局へのナビ番組や総集編の伝送で、AJC-CMSを利用しています。長尺の番組をケーブルテレビ局に対し、1対nで広く容易に配信できる点がAJC-CMSの大きな長所だと感じています。今年以降のこの企画の実施に関しては、発展的な形となるよう検討を進めているところです。

その他、15分～30分尺のナビ番組のデリバリーで定常的にAJC-CMSを利用しています。アップロード/ダウンロードの高速化やアップロードファイルのMOV / MXFへの自動変換機能を実装していただけると、より使いやすいツールとなるのではないのでしょうか。

AJC-CMSは すでにベーシックな存在に

チャンネルの特性を活かし、全国のケーブルテレビ局との連携を積極的に進めている「旅チャンネル」(ターナー・ジャパン(株)、東京・中央区、トム・ペリー執行役員GM兼シニアバイスプレジデント)。同チャンネルでは2015年6月より、AJC-CMSを利用した新たな取り組みを開始した。その概要などについて同社ネットワーク営業部長の上島昭夫氏に話をうかがった。



上島昭夫氏

ターナー・ジャパン(株)
ネットワーク営業部 部長

ケーブルテレビ局からの 購入番組の伝送に利用

上島:旅チャンネルでは日本や世界各地の旅行・紀行番組などを放送しており、コンテンツ強化方策の1つとして、ケーブルテレビ局制作番組の購入・放送を行なっています。

その一例が、昨年より放送開始した『長崎ぶらぶら好き』です。(株)長崎ケーブルメディア制作の番組で、観光案内などには載らないような道を歩きながら、長崎の歴史を探訪するという地元密着の紀行番組となっています。クオリティも高く、旅チャンネルのコンテンツの幅を広げることができたと感じています。

また(一社)日本ケーブルテレビ連盟が制作するシリーズ番組『けーぶるにっぽん』も購入させていただき、第1シリーズより旅チャンネルで放送しています。最新シリーズ『けーぶるにっぽん 美・JAPAN』は今年7月より放送を開始しました。

こうしたケーブルテレビ局からの番組購入の際にAJC-CMS



6月よりケーブルテレビ局に提供される『野天湯へGo!』

TM and © 2015 Turner Japan K.K. A Time Warner Company. All Rights Reserved.

を利用しています。コストにおいてもマンパワーにおいてもテープでのやり取りより優位性があり、使い勝手も良いと考えています。

その他、ケーブルテレビ局の協力のもとで制作していた番組『あちこちニッポン!』でも、番組で使用される映像素材をケーブルテレビ局から伝送いただく際に、AJC-CMSを利用していました。

6月より番組を 毎月1本提供開始

上島:さらに6月よりAJC-CMSを利用した新たな取り組みとして、旅チャンネル採用局を対象に、番組を丸々1本、コミュニティチャンネルでの放送向けに提供する試みを開始しました。

提供する番組は、温泉番組『野天湯へGo!』です。旅チャンネルの中でも人気の高い番組の1つで、現在も放送をしております。この訴求力の高い番組を毎月更新でお届けすることで、コミュニティチャンネル視聴者を多チャンネルサービス加入へと誘導できればと考えています。

AJC-CMSは利便性の高いシステムで、すでにケーブルテレビ局ではベーシックな存在になっていると思います。AJC-CMS利用局との間で番組や素材の伝送方法を定める際には、ほとんどの場合テープではなくAJC-CMSを選択されているようです。

ただしサプライヤーが本格的に利用するためには、アップロードファイルを作成するためのデジタイズの手間が1つのネックになっていると感じています。デジタイズを内省化できていないサプライヤーもありますので、この課題が解決すればサプライヤーの利用も増えると思います。

AJC-CMS やじもテレで 多チャンネルサービスの加入促進を

「ディズニー・チャンネル」「ディズニー XD」「ディズニージュニア」の3チャンネルを運営するウォルト・ディズニー・ジャパン(株) (東京・港区、ポール・キャンドランド社長)。

ケーブルテレビ局に厚いサポートを行うことで知られる同社では、どのようにAJC-CMSを活用しているのだろうか。Dlifeとケーブルテレビ局の連携も含めて、同社プラットフォーム・セールス&アフィリエイト・マーケティング テレビジョン ディレクターの北村彰啓氏に話をうかがった。



北村彰啓氏

ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)
プラットフォーム・セールス&
アフィリエイト・マーケティング
テレビジョン ディレクター



コミチャンFOD サンプリングで提供された『スター・ウォーズ 反乱者たち』
© & TM 2015 Lucasfilm Ltd.

番宣・局宣動画や コミチャン提供番組を伝送

北村：弊社では主に番宣動画や局宣動画等のいわゆるセールステープや、コミチャンFOD サンプリングの伝送でAJC-CMSを使用しています。利用局の要望に合わせてAJC-CMSやテープ等でお送りしており、AJC-CMSでの伝送局はセールステープの場合で採用局の約14%、コミチャンFOD サンプリングで約24%となっています。

セールステープは「ディズニー・チャンネル」「ディズニー XD」「ディズニージュニア」の3チャンネル合わせて約10分程度のコンテンツです。

コミチャンFOD サンプリングでは、毎月2本、シリーズ第1話等を、コミュニティチャンネル放送向けに提供しています。『スティッチ!』や『プリンセス・ソフィア』『スター・ウォーズ 反乱者たち』等、人気作や最新作を提供しており、ケーブルテレビ

局にもご好評いただいているようです。注目作の第1話をコミュニティチャンネルで広く視聴していただくことで、有料多チャンネル放送に対する興味喚起や加入促進につなげられればと考えています。

購入番組の伝送や じもテレ活用も視野に

北村：またブロードキャスト・サテライト・ディズニー(株)が運営する無料BS局「Dlife」では、ケーブルテレビ局制作番組を購入し、放送する取り組みを行っております。長崎ケーブルメディア制作番組『上海小吃放浪記』を購入・放送したところ、非常にクオリティも高く好評で、それをきっかけにケーブルテレビ制作番組をDlifeで放送する動きが広がりました。

ケーブルテレビ局から見ると2,800万世帯をカバーするDlifeで放送されることで、番組のリーチを大きく広げられます。Dlifeとしても旅ジャンル等の番組の強化において、日本全国各地域の番組を放送しているケーブルテレビ局と連携するのは理にかなった選択でした。4月からは日本ケーブルテレビ連盟制作の『けーぶるにつぼん ふるさとの宝』も放送しています。

こういったケーブルテレビ局からの番組購入の際、現在はテープでのやり取りとなっていますが、今後はAJC-CMSの利用もケーブルテレビ局のニーズに合わせて検討していく必要があるのではないかと考えています。

その他、多チャンネルの視聴拡大につなげられるように、たとえばじもテレでナショナルコンテンツを配信するような試みも出来ればと思います。そこからケーブルテレビ局経由での多チャンネル放送加入を促進できると面白いですね。

JiMO

じもテレ

Japan Interesting Motion picture Organizer

「じもテレ」がリニューアル!
This is new “JIMO TELE”

自動生成に加え 「人力」も活用 両方式で訴求力と 回遊性が向上

2014年4月に開設され、同年8月より本格稼働を開始した“ふるさと発”の地元情報ポータルサイト「じもテレ」(<http://jimotv.jp>)。すでに多くのケーブルコンテンツがアップロードされている同サイトは、2015年4月にリニューアルを実施した。その狙いなどについて、担当者に話をうかがった。



久保田精一氏

(株)ジュピターテレコム
地域メディア本部
コミュニティチャンネル部 部長



瀬間健司氏

東京ケーブルネットワーク(株)
制作部 次長

編成・運用チームを組織 音楽著作権は一括処理

—まずAJC-CMSの現状についてお聞かせください。

久保田：放送ファイルのケーブルテレビ局への配信やメタ情報を共有できるシステムとして、2012年10月に本格稼働を開始して以来、利用局も順調に伸びています。現在ではサブライヤーも含め約300社が利用しており、接続世帯数は約2,400万世帯に上ります。月間のコンテンツアップロード数は約1,500～2,500、ダウンロード数は約6,000と、発信だけを見ても年間で約2万コンテンツがAJC-CMS経由で流通しています。AJC-CMSはコンテンツ流通プラットフォームとして、すでに業界のデファクトスタンダードとなっていると言っても過言ではありません。

2014年には、AJC-CMSからIP系サービスの「じもテレ」や「milplus (みるプラス)」[「teleweb」]へと直接コンテンツをアップロードできる機能も提供開始しました。「milplus」[「teleweb」]はSTBからも視聴できますので、テレビ向けに自社コンテンツのVODを提供することも可能となります。今後は「CableGate」や「ケーブルアクトビラ」との連携も進める予定で、AJC-CMSを通じてさらに広いプラットフォームへとコンテンツを展開できるようになるでしょう。

—「じもテレ」が今年4月にリニューアルされたそうですが、その狙いは。

久保田：「じもテレ」は、全国のコミュニティチャンネルの番組を集めた、PC・スマートフォン・タブレット端末等マルチデバイス対応の動画サイトです。ケーブルテレビ局は「じもテレ」を活用することで、自社コンテンツを日本や世界のユーザーに発信することができます。

先ほど述べたようにAJC-CMSとも連携しており、AJC-CMSから番組をシームレスにアップロードすることも可能です。動画はPHLS方式で保護されています。2015年7月時点では約1,000コンテンツがアップロードされている状況です。

そんな「じもテレ」は開設以降順調に稼働してきましたが、徐々に課題も出てきました。それらをクリアにするために行なったのが、今回のリニューアルです。

リニューアルにおけるポイントの1つが、運

営体制の見直しでした。これまでの「じもテレ」の運用は自動化されており、コンテンツも自動生成される形でした。そのため、テキスト検索や地図検索など検索機能は充実していたものの、特集ページの作成など企画性のあるサイト作りができていませんでした。またランキングやレコメンド機能もなく、全体としてユーザビリティやサイトの回遊性が低い状態だったのです。

そこでリニューアル以降は編成・運用チームを組織し、「人力」と自動生成の両面から「じもテレ」を運営していく体制としました。人の力による企画性のある特集や、自動生成されるランキングなどを盛り込み、ページレイアウトも工夫することで、より訴求力があり回遊性の高いサイトへと変貌しています。サイトカラーもサイト特性に合った白ベースへと変更しました。

また音楽著作権処理も課題の1つとなっていました。日本ケーブルテレビ連盟が著作権管理団体と交渉した結果、「じもテレ」掲載コンテンツに関する音楽著作権料に関しては、「じもテレ」プラットフォームとして一括処理し、連盟が著作権料を支払う形としました。つまり各ケーブルテレビ局が「じもテレ」にコンテンツをアップロードするために、IP配信における音楽著作権料を個別に支払う必要はないということです。自社のコンテンツを気軽に「じもテレ」にアップロードできるようになったのではないのでしょうか。

「部活特集」を開始 若年層へのリーチ狙う

—特集ではどのようなコンテンツを扱っていらっしゃるのでしょうか。

瀬間：若年層に対するケーブルコンテンツの浸透を狙い、6月より「部活特集」を開始しました。各ケーブルテレビ局が日々の番組制作の中で取材した学校の部活紹介映像を、特集という形にまとめて発信しています。まずは高校野球シーズンということもあり、野球部紹介動画を特集しました。

すでに文科系ではNPO法人映画甲子園主催の高校生映画コンテスト「eiga worldcup」のエントリー作品を配信していますが、ここに体育会系などの部活紹介を加えることで、より多くの高校生に「じもテレ」を訪れていただき、その中で広くケーブルコンテンツに触れていただければと考えています。

久保田：実は野球部紹介特集を開始して以降、



「部活特集」掲載後にアクセス数が増加

「じもテレ」へのアクセス数が大きく跳ね上がっています。特集開始直前と直後と比較すると、6倍弱もアクセス数が増加しました。

瀬間：今回の部活特集も「eiga worldcup」作品配信もそうですが、長く続けることが大切だと思います。そうすることで若年層にケーブルテレビに親しみをもってもらえたり、発表の場として意識してもらえたりするようになります。また地域の若年層にケーブルテレビに興味を持ってもらうことで、人材育成などにもつながられるのではないのでしょうか。

「じもテレ動画プレイヤー」 「じもテレAPI」を実装予定

— 他にも「じもテレ」で新たな取り組みを実施されるそうですが。

久保田：現在「じもテレ動画プレイヤー」と「じもテレAPI」の実装準備を進めています。「じもテレ動画プレイヤー」は「じもテレ」コンテンツを再生できるwebアプリで、ケーブルテレビ局のホームページなどサイト内に埋め込むことで、「じもテレ」ページに遷移せずに「じもテレ」コンテンツを視聴できるようになります。

「じもテレAPI」は、「じもテレ」コンテンツの画像や詳細情報等を記したバナーを自動作成し、そのコードを配布する機能です。バナーをクリックすると「じもテレ」の当該コンテンツページへと遷移し、動画を視聴することができます。

その他、4K対応にあわせてアップロード速度の向上を図るAJC-CMSの“爆速計画”も準備中です。「じもテレ」は今後も進化していきますので、ぜひ多くのケーブルテレビ局に利用していただければと思います。

Cable Contents Information

4Kフィラーコンテンツを募集中!

日本ケーブルテレビ連盟では、連盟正会員オペレーターを対象に、4K制作の推進およびスキル向上、4K素材によるコンテンツの共有などを目的に、4Kフィラーコンテンツを制作する取り組みを実施しています。ぜひ多くの局の皆さまにご参加いただきたくご案内いたします。

■ 制作仕様

タイトル:「にっぽんの城」「にっぽんの祭」「にっぽんの鉄道」
「にっぽんの山」

番組尺:15分完パケ(4K版および2Kダウンコン版)。

「じもテレ」向けに短尺(3分程度)完パケも作成する

番組内容:BGM・テロップで構成(ナレーション無し)

■ 募集内容

- ① 各地の「城」「祭」「鉄道」「名山」を撮影した4K映像素材
1カット30秒以上でトータル5分尺以上のフィラーVTR用素材。
1対象あたり3分程度の完パケ作成に必要な尺とし、静止画(写真)はNG。
4K撮影のフレームレートは60P。動きの少ない場合は30Pも可。
解像度は3840×2160。
- ② 撮影対象の説明資料(テロップ作成用のテキスト)

■ 制作方法

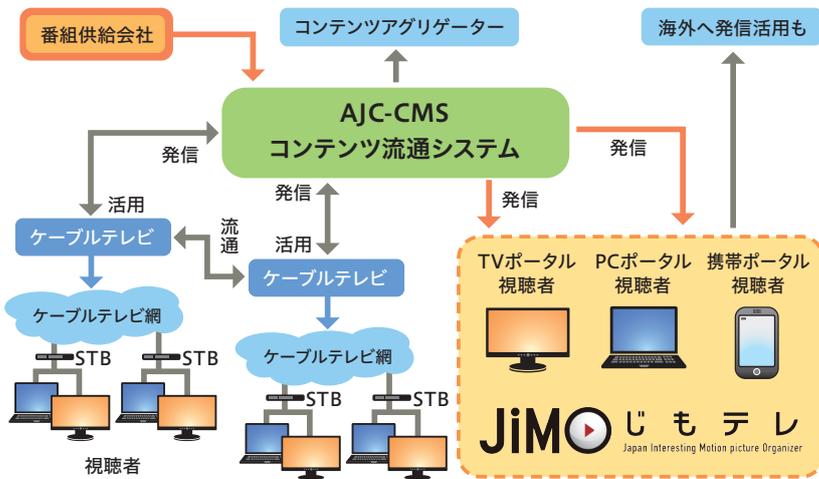
- ① 撮影局募集:撮影を希望する局、素材を提供できる局は下記の連絡先までお申し出ください。詳細については確認・打ち合せ致します。
- ② 各局撮影:4Kカメラを保有している局は随時撮影。4Kカメラ貸出し制度を設けます(別途ご案内)
- ③ 素材納品:撮影素材の納品は、原則データカードまたはHDDを指定するあて先に送付。AJC-CMSによる対応は検討中につき、ファイルの大きさによって調整します。
- ④ 編集:連盟指定先で完パケ編集します。BGMはフリー音源でテロップによる紹介文を掲載。完パケは放送用15分(4K/2K)と、じもテレ向けに「城」単位、「祭」単位を作成する。
※撮影素材の著作権は撮影局にあります。成果物の権利は連盟が持つことをご了承ください。
- ⑤ 放送・配信:4K版は本年開始予定のケーブル4Kで放送予定。2K版は撮影局および「美・JAPAN」を放送した局、次回「技・JAPAN」の配信を申し込んでいただいた局にAJC-CMSで配信します。じもテレには特集ページを作成して掲載予定です。

■ お問い合わせ・連絡先

(一社)日本ケーブルテレビ連盟 コンテンツ・ラボ 担当/中田・小林
TEL:03-3566-8200 E-mail:cable_nippon@catv.or.jp

AJC-CMS (All Japan Cable TV-Contents Management System/全国コンテンツ流通システム)

ケーブルテレビ局の地域コンテンツの全国的な流通を目的に、日本ケーブルテレビ連盟が開発・運用しているIP番組素材配信システムです。



じもテレ <https://jimotv.jp/>

全国のケーブルテレビ局が制作した番組を配信するBtoCケーブル・コンテンツ配信サイトです。マルチデバイスに対応しているほか、AJC-CMSから番組をアップロードすることが可能です。



AJC-CMS 利用料金 (2015年8月現在)

正会員オペレータ(※1)(接続世帯数(※2)によるゾーン制)

	月額	年額
10万世帯以上	25,000円(税抜)	300,000円(税抜)
5万世帯以上	17,000円(税抜)	204,000円(税抜)
5万世帯未満	12,000円(税抜)	144,000円(税抜)

※1:お申し込みは法人単位とします

※2:接続世帯数は、2014年12月時点でのものとします

非会員オペレータ(※3)(接続世帯数(※4)によるゾーン制)

	月額	年額
10万世帯以上	27,000円(税抜)	324,000円(税抜)
5万世帯以上	19,000円(税抜)	228,000円(税抜)
5万世帯未満	14,000円(税抜)	168,000円(税抜)

※3:お申し込みは法人単位とします

※4:接続世帯数は、2014年12月時点でのものとします

おしらせ受信限定会員

	月額	年額
おしらせ受信限定会員(※5)	無償	-

※5:おしらせ受信限定会員は、連盟の認める一部コンテンツ、およびサプライヤーの提供する番組宣伝コンテンツ等のダウンロードの利用に限定されます

サプライヤー(※6)

	月額	年額
正会員サプライヤー	100,000円(税抜)	1,200,000円(税抜)
正会員サプライヤー(ライトコース)(※7)	20,000円(税抜)	240,000円(税抜)

※6:お申し込みはチャンネル単位とします

※7:ライトコースは月間HD番組10時間までのアップロード制限での利用とします

〈お申し込みに関するお問合わせ先〉 一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟 コンテンツ・ラボ事務局

Eメール: jcta_contents-lab@catv.or.jp TEL:03-3566-8200 FAX:03-3566-8201